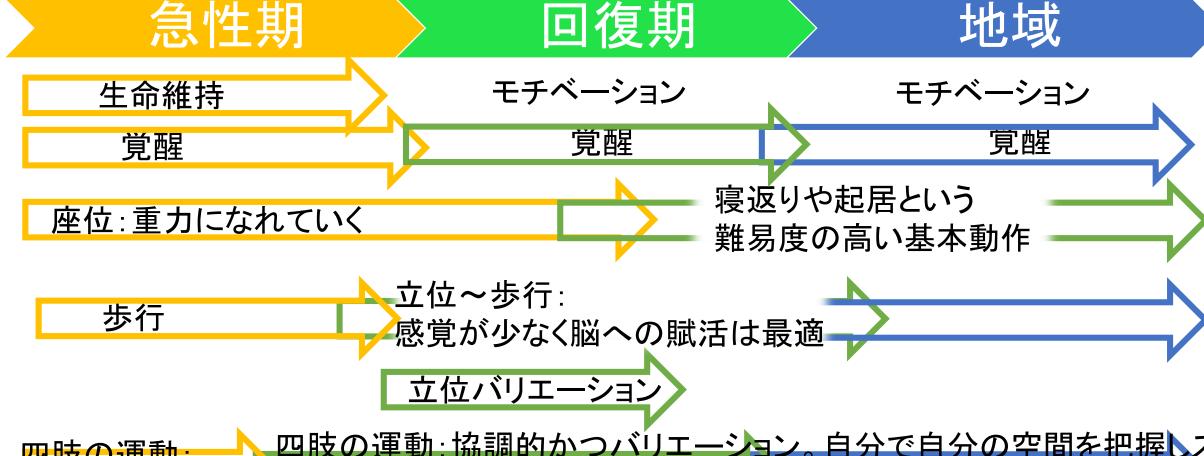
脳外触診セミナー 〜触診のヒントになることがら〜



脳外臨床研究会 山上拓

視床出血に対しての治療選択と優先度

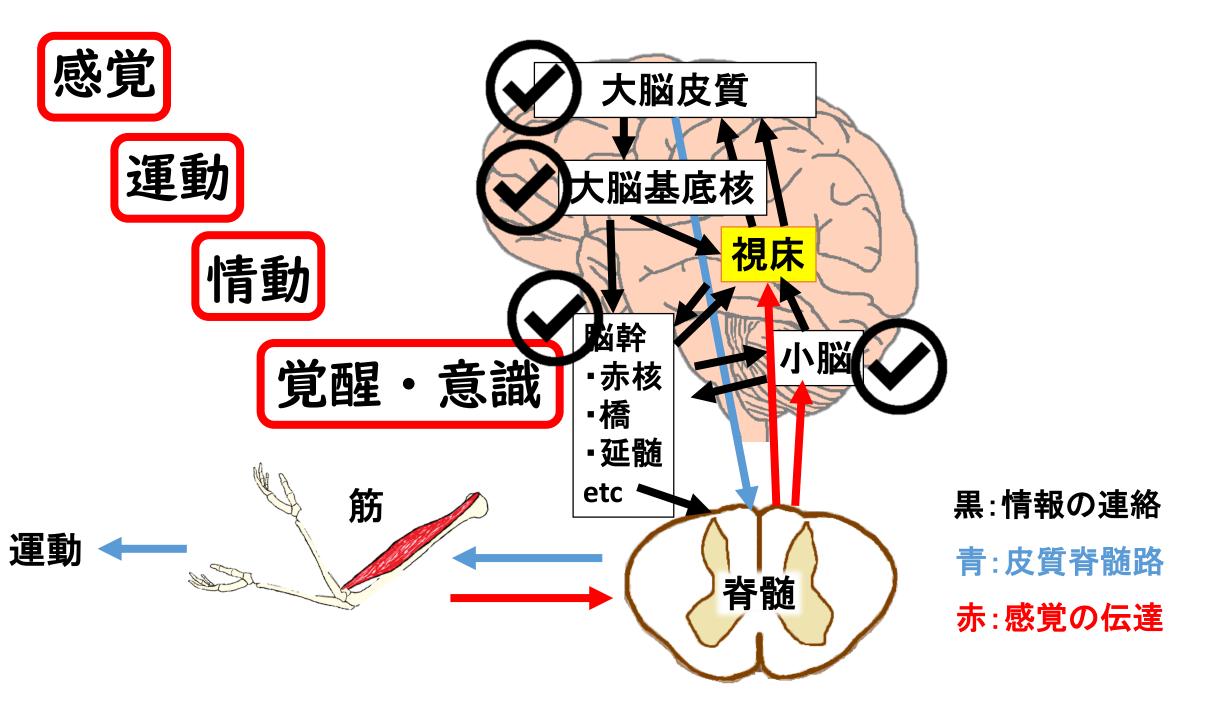


四肢の運動: 随意運動の反復 四肢の運動:協調的かつバリエーション。自分で自分の空間を把握しスペースを拡大させていく。随意運動の反復→自分の手で触る→物を介して触る・取る、自分足で触る→物を拾う→運ぶ

痛みや痺れがでてくるのを可能な範囲で予防する

高次脳と付き合う。

廃用予防:量的

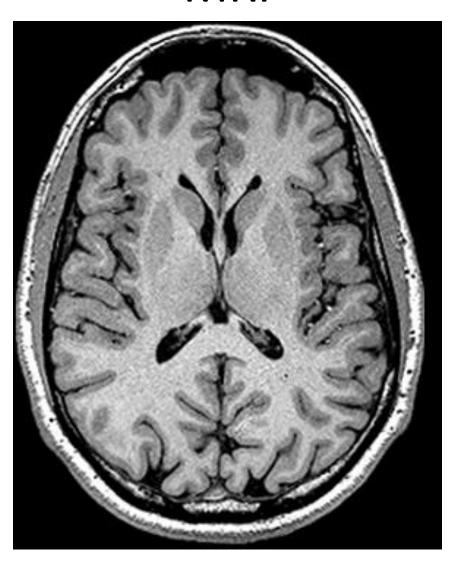


視床出血

視床の場所は?

MRI

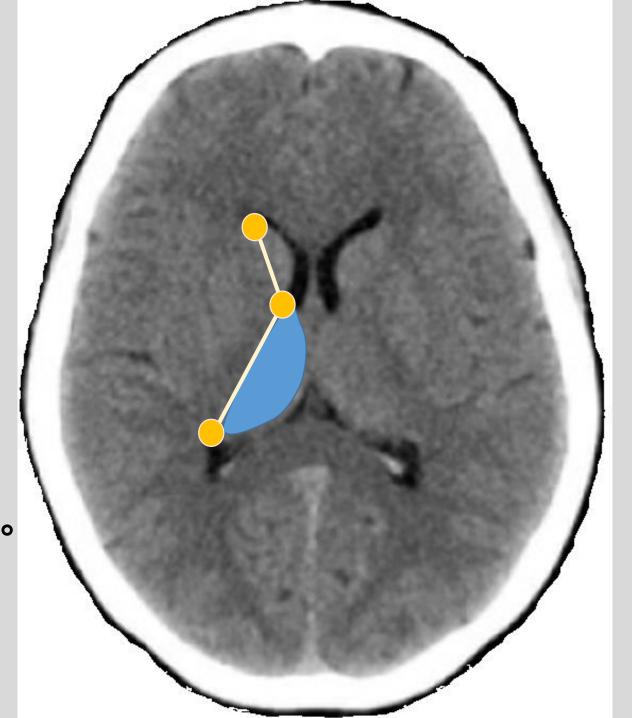




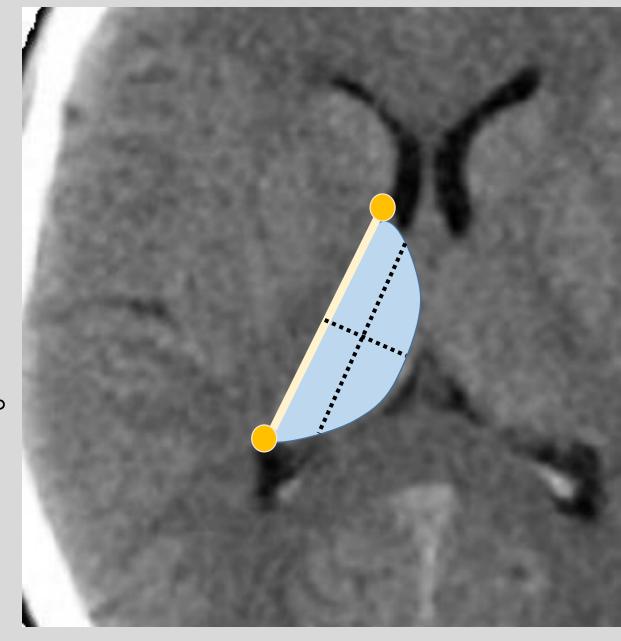
脳画像:視床を確認の仕方

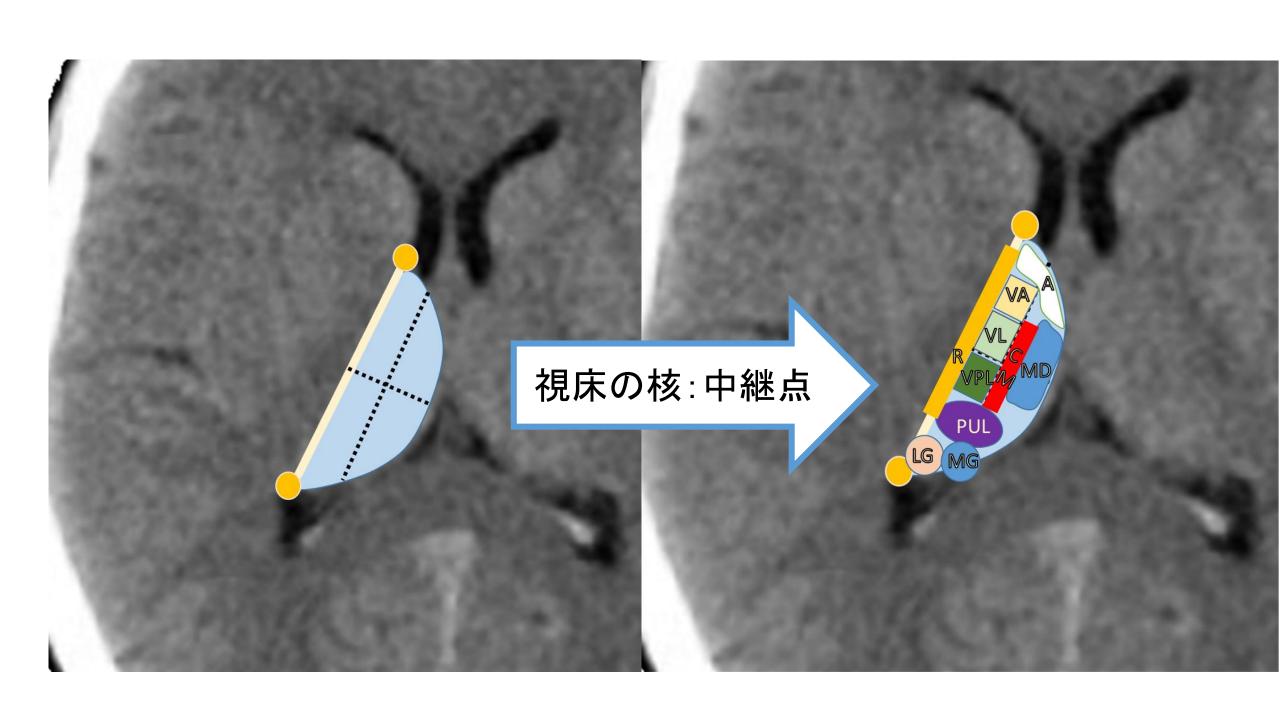
- ① 脳室の前角の前後に2点
- ② 後角の端に1点マーキングします。
- ③ その3点を線で結びます。

前角と後角の2点と脳室で 囲まれた領域に視床があります。



前角と後角の2点を結んだ線を 2等分します。 さらに2等分線から直角に線をひきます。 その線をさらに2等分し、 視床を4分割するイメージで線をひきます。





視床出血で失調 (ataxia) は出現する?

なぜ?

失調とは

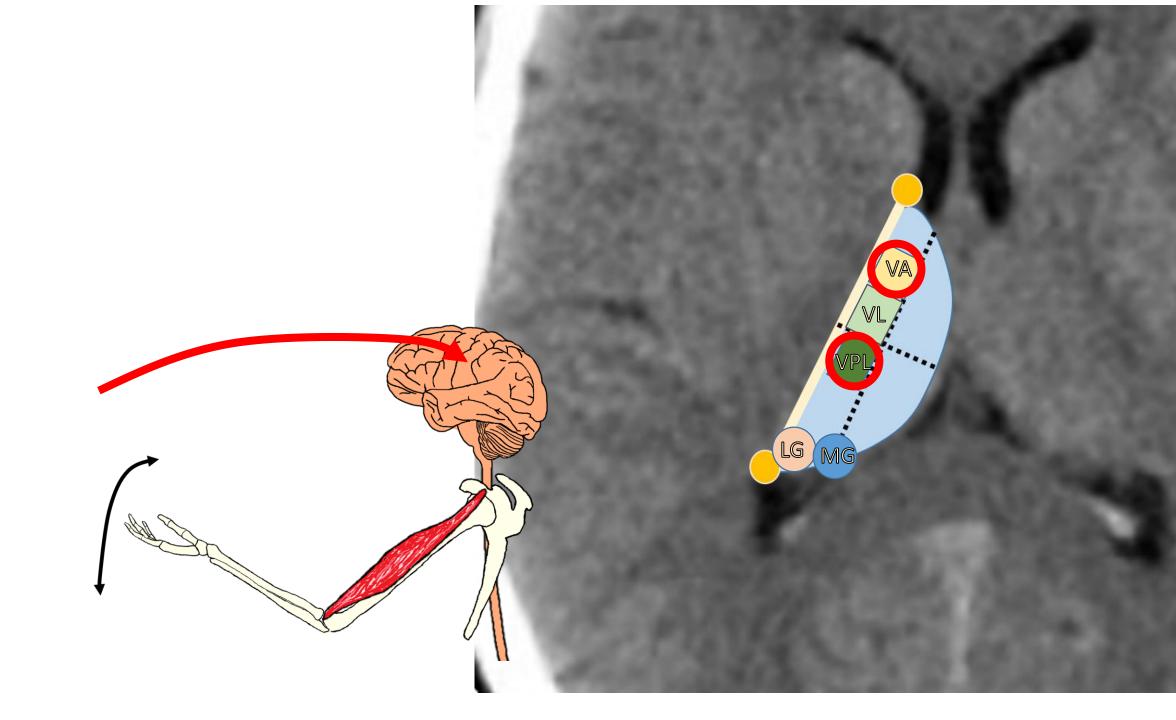
- ・ 医学大辞典では「失調」では掲載がない。
- ・「運動失調」「ataxia」で掲載あり。 麻痺や不随意運動がないにも関わらず生じる協調運動の障害全般 を示す。

「運動失調」「ataxia」

「運動失調」「ataxia」で医学大辞典に掲載あり。 麻痺や不随意運動がないにも関わらず生じる協調運動の障害全般を示す。 機序により、以下の3つを区別することがある。

- 深部感覚障害による運動失調。深部感覚の伝導路障害。
- ・小脳性運動失調。小脳、および小脳への入力系および出力系の障害による協調運動 障害。
- ・前庭迷路系の障害による運動失調。 起立や歩行に対する平衡障害が中心で、四肢の運動は障害されない。

		入力 input	中継点核	出力 受取側	機能
特異核	感覚	内側毛帯· 脊髄視床路	VPL		体性感覚(四肢と体幹)の中継点
		VPL 後外側肌		聴覚野	体性感覚(頭部と顔面)の中継点 聴覚の中継点
		視索	LG	視覚野	視覚の中継点
	運動	小脳核·基底核 淡蒼球	VL VA	運動野 運動前野	錐体路と錐体外路に関係 錐体外路に関係
		VL 外側腹側	核	前動前野 帯状回	感覚に基づく情動 辺縁系に属した情動と記憶に関与
連合核		上丘	PUL	視野連合野	視聴覚や体性感覚の連動
			LP LD (DM)	頭頂連合野	空間情報の連合 情動の発現 認知機能に関係
非特異核		脳幹網様体	СМ	皮質全域	上行性網様体の一部
その他			R	その他の核	他の核の働きを調整



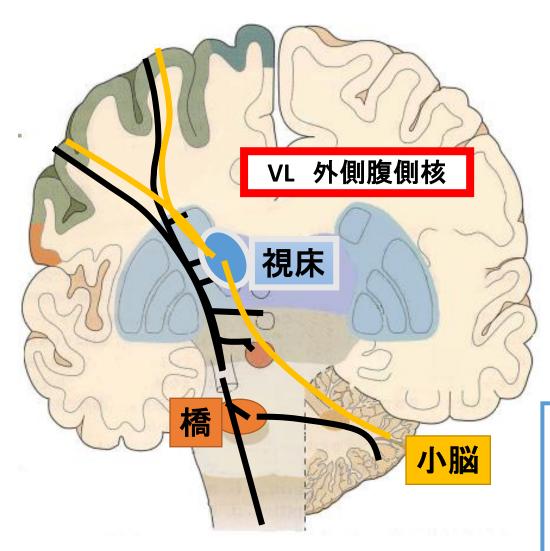
視床・感覚のネットワーク

視床VP・感覚のネットワーク



視床VLー小脳のネットワーク

小脳の運動ループ



運動野からの情報電気信号は、皮質脊髄路を下行

下行の途中、橋で横橋線維にその情報を渡し、反対側の小脳虫部および中間部に入力

小脳で処理された運動の誤差情報は、上小脳脚を通り、視床の外側腹側核に入力

外側腹側核を経由した運動の誤差情報は、運動野に出力され、運動ループを形成する

このループにおいて、視床出血を罹患することで、運動の誤差修正が不正確となり、運動失調が出現する

疑問:視床一基底核の関係で失調はおきない?

運動失調の評価として

• 運動失調: SARA

視床出血で出現する

小脳性の運動失調/感覚性の運動失調

違いを比較しよう!

私なりの回答です!!

小脳性の運動失調

• 原因: 小脳-視床VL核の障害

• 特徴

感覚性の運動失調

- 原因: 感覚系の経路の問題 視床VPL核の障害
- 特徴

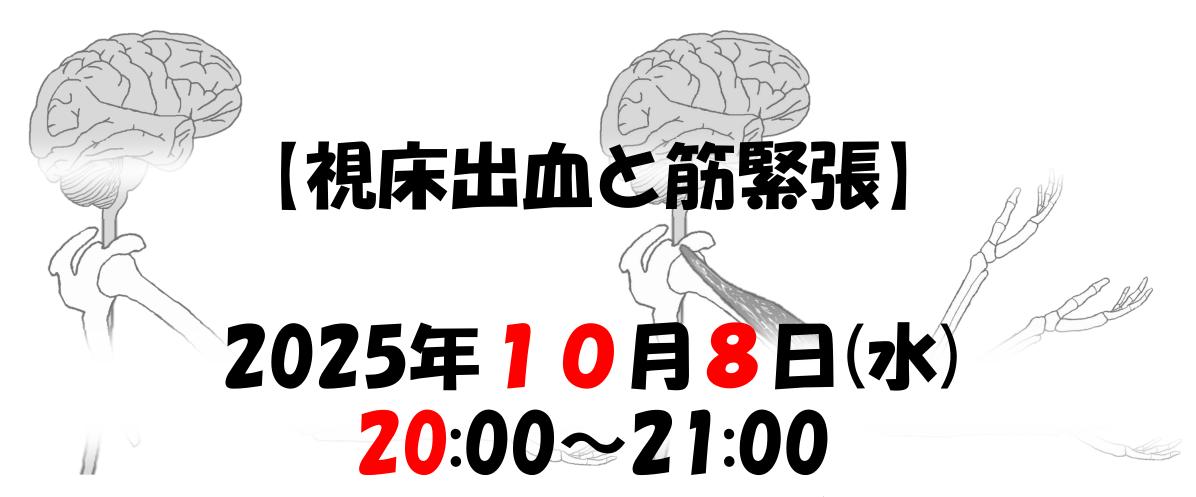
小脳性の運動失調/感覚性の運動失調

項目	小脳性	感覚性
原因部位		
主な症状		
Romberg徴候		
協調運動試験		
代償		

まとめ:失調に関わる視床核

最後までご清聴頂きありがとうございました。

脳外触診セミナー 〜触診のヒントになることがら〜



脳外臨床研究会 山上拓